

田谷町コース

バス停【洞窟前】

コース ①御霊社（御霊神社）⇒②田谷山 亀見院 定泉寺（WC）⇒③田谷の洞窟⇒
④九つ井⇒⑤常勝寺⇒⑥千秀センター（WC）⇒⑦道祖神（猿田彦大神）⇒
⑧秋葉神社⇒⑨庚申塔⇒⑩湯快爽快 たや（温泉・WC）

解説

①御霊社 鎌倉時代、金井・田谷・長尾台周辺は鎌倉権五郎景政の子孫の梶原氏が治めていた。梶原氏はこの鎌倉氏を祭神として藤



①御霊社



②田谷山 亀見院 定泉寺

沢村岡御霊社に祀っていたが、その後田谷、長尾台を含む13の場所に分祀されたものと思われる。御霊社とは御霊信仰という風習のもとに造られた社で、合戦で倒した敵の霊を手厚く祀って祭神とするもので、その後、勇猛な武士を祀るようになった。

栄区の田谷・長尾台地区には鎌倉時代の武将である鎌倉権五郎景政を祀ったいくつかの御霊社があるがそのひとつである。創建は詳らかではない。

②田谷山 亀見院 定泉寺 真言宗大覚寺派。

天文元年（1533）に鶴岡二十五坊相承院の阿闍梨により創建されたと伝わっている。また、田谷の洞窟（伽喩洞）があることで知られている。鎌倉時代に真言密教の修行場として造られたものを、江戸時代後期に広げられ現在の規模になっている。

③田谷の洞窟 田谷山 伽喩洞と称し、もと鶴ヶ岡廿五坊の修禅道場である。鎌倉時代初期開創と伝えられ、江戸時代に至るまで適



③田谷の洞窟



④九つ井

時拡張されて上下三段、延長1km余の壮大な規模になった。そして本尊一願弘法大師をはじめ四国、西国、秩父、坂東各札所、両界壘茶羅諸尊一人羅漢等数百体の御仏が今も無言の説法を続けている。地質は粘板岩の巨大な一枚岩で幾度かの大地震にも見事に耐えている。また合理性を備えた構造からは往時の土木技術の一端がうかがわれ、その点からも貴重な存在である。

寂静の洞内にいまなお残る無数の鑿跡は往時の苦修練行を物語りつゝ巡拝者の心奥にひそむ浄菩提心の開花を願っているようである。

④九つ井 ^{このついで} 戦国大名、小田原の北條氏が相模の国を平定し、武蔵まで進出するようになると、鎌倉山に連なる戸塚一体の山並みは戦略要地として重要な拠点となり、戦略要害として玉縄城を築城した。玉縄城に相對してここ田谷の山頂に平戸御前が居を構えていた。この辺りは高台のため、飲料水がなく、麓一帯に湧き出る泉が館の大切な飲料となり、泉には水番人を置いて管理した。この沢山の泉に因んでこの辺りを「九つ井」と呼ぶようになった。

⑤常勝寺 日蓮宗。
栄区内唯一の日蓮宗の寺院。永正元年（1504）創建。伝運慶作鬼子母神像を安置。



⑤常勝寺



⑥千秀センター

⑥千秀センター 田谷町 1662 番地 昭和 48 年 11 日間設。千秀小学校発祥の地、教育碑がある。

⑦道祖神 千秀センター入口前「猿田彦大神」と刻まれている。



⑦道祖神



⑧秋葉神社

⑧秋葉神社 小さな祠がある。

⑨庚申塔 千秀小学校の裏道。大きい庚申塔が三体ある。



⑨庚申塔



⑩湯快爽快 たや

⑩湯快爽快 たや
田谷の地下深くから湧き出る褐色の源泉は良質な成分を豊富に含むナトリウム炭酸水素塩温泉。神経痛・筋肉痛・肩こり・慢性消化器病・冷え性などに効果がある。

【出所】 栄区歴史散策マップ(歴史探索帳) 戸塚くるぶ 田谷の洞窟解説
九つ井HP 湯快爽快HP